

VISTA機のクラブ基準

講座などで設定を変更した場合は、使用後クラブ基準に戻してください

・画面表示の設定

1. 講師用パソコンの画像解像度設定は、プロジェクタの規格に合わせ 1024 × 768 (XGA) にする。
(1280 × 800 にすると、プロジェクタの投影範囲から左右へはみ出すため)
保留し検討する = 設定しても戻ってしまうことがあるので、VISTA 勉強会の時に調べる
2. デスクトップ上のアイコン・フォントはサイズを 96 dpi とする。
(120 にすると、たとえばメールオプションの下部画面が表示されず、各種設定ができなくなる)
3. パソコンのアカウント名を「IT 講習会」から「パソコン講習」に変更し、デスクトップの「IT 講習会」のアイコンは削除する。
(同アイコンは VISTA のテキストにはなく、講座でも使わないため)
設定 = コントロールパネル ユーザーアカウント アカウント名の変更
4. スクリーンセーバーは OFF にしておく。
(講座中にスリープモードにならないように)
個人設定 = スクリーンセーバー 電源設定の変更 省電力設定の変更 電源に接続 なし
5. デスクトップの背景画面は VISTA テキスト 13 頁と同じにしておく。
6. 言語バーはタスクバーの上に出しておく(画面右下)
言語バーの『あ』が出ていないときは KANA の横の をクリックしチェックをはずす
7. ブラウザ内の BIGLOBE の検索窓は非表示にしておく。
8. ブラウザ右上の BIGLOBE の表示は、テキストと同じ「Live Search」を選択しておく。
9. インターネットのスタートページは『Yahoo (ホームを Yahoo に)』にしておく。
10. ワード 2007 のクイックアクセスツールバーは、[上書き保存]、[元に戻す]、[やり直し]の 3 アイコンのみとする。

ワードの画面がワードを終了した起動すると、150%にしておいても100%に戻ってしまう。 勉強会で確認する

. Windows Mail の設定

1. メールアカウントは原則従来から使用している「花の名前」とする。
アドレス帳には、花の名前の全アドレスを登録し、講座で変更したときは元に戻す。
一部、入力しやすいものに変更 = 押田さんをお願いする
2. 講師用パソコンは、「zama001 あさがお」とする。
3. アドレス帳と Windows Mail の起動を関連付ける。
(アドレス帳からメールを作成するとき、Windows Mail が起動されるようにするため)
設定 = コントロールパネル 規定のプログラム プログラムのアクセラとコンピュータの規定の設定
カスタムで Windows メールを選択

4. 主なオプションの設定

全般タブ

メッセージの送受信 チェックすべて外す

読み取りタブ

メッセージの読み取り

☒ メッセージはすべてテキスト形式で読み取る。

☒ 一覧ですべて表示できないアイテムにヒントを表示する

確認メッセージタブ

確認メッセージの要求 チェック外す

開封確認メッセージの返信

◎開封確認メッセージを送信しない

送信タブ

送信

☒ [送信済みアイテム]に送信メッセージのコピーを保存する

☒ メッセージを直ちに送信する(テキスト通り)

☒ 返信に元のメッセージを含める

メール送信の形式

◎テキスト形式

作成タブ (初期設定どおり)

署名タブ (初期設定どおり)

スペルチェックタブ (初期設定どおり)

セキュリティタブ (初期設定どおり)

ウイルス防止

講座で画像送信した場合の状況を確認して決める。

接続 詳細設定タブ (初期設定どおり)

ウインドウのレイアウト

全般 (初期設定どおり)

☒ フォルダー一覧 ☒ ツールバー ☒ ステータスバー ☒ 検索バー

プレビューウィンドウ

- ☒プレビューウィンドウを表示する
- ◎メッセージの下
- ☒プレビューウィンドウヘッダーを表示する

迷惑メールのオプション（初期設定どおり）

返信メールをするとアドレス帳に追加される機能をどうするか という議論があった
D では使っているの、使って元に戻すか、使わないか検討する

．運用

- 1．講座中のOS自動更新通知を回避するため、自動更新設定をOFFにする。
（スタート windows update 設定の変更 更新プログラムを承認しない、を選択する）
起動時に手動でアップデートを行うこと。
ウイルス防止ソフトおよびiフィルタの更新がないかチェックし、ある場合はダウンロードを実行すること。
自動更新は月1回、第1回講座終了後に講座担当班が更新作業を行う。更新した後は、自動更新をOFFにすること。ただし、8・11月は更新作業を行わない。
（作業のための部屋は各館が用意する）
- 2．電源終了は、シャットダウンが原則。
本クラブ基準についてお気づきのことがありましたら、グループ長または直接 himawariML でご連絡ください。